



フォルトウナ通信

➡ FORTUNA AKTUELL - Japanese Version



金城が古巣戦でブンデス2部デビュー!

➡ KINJO DEBÜTIERT IN DER 2.LIGA GEGEN SEINEN EX-CLUB

選手インタビュー

金城ジャスティン俊樹

➡ INTERVIEW MIT JUSTIN TOSHIKI KINJO

Jリーグアカデミーダイレクター研修を実施

➡ J-LEAGUE-DELEGATION ZU GAST IN DÜSSELDORF

日本人学校で「フォルトウナ授業」

➡ „FORTUNA-UNTERRICHT“ IN DER JAPANISCHEN SCHULE





premiumPARTNER



SNOWPROX S954



50 Euro

ガソリンクーポン券プレゼント

新商品Snowprox S954 4本お買い上げで
50 Euro のガソリンクーポン券をプレゼント。
お買い上げ後、www.toyo.de/tankgutschein
にご登録ください。

(イベント期間：2016年10月1日～2016年11月30日まで)



www.toyo.de |  ToyoTireDeutschland

TOYO TIRES
driven to perform

フォルトゥナは今も大好きなクラブ。

Fortuna ist immer mein Lieblingsclub

元フォルトゥナ・デュッセルドルフ/ 清水エスパルス 大前元紀

Genki Omae, ehemaliger Fortunas Spieler / Shimizu S-Pulse Kapitän

フォルトゥナファンの皆様、こんにちは。2012/13シーズンにデュッセルドルフでプレーした大前元紀です。僕がフォルトゥナに所属した期間は半年と短かったですが、チームメートには温かく迎え入れてもらえてましたし、すごく住みやすい街だったという印象も残っています。半年で帰国となってしまったことはすごく残念ですが、もしまたいつか海外挑戦が出来るようであれば、是非またフォルトゥナのユニフォームに袖が通したいなと、いつも思っています。

日本に戻ったあともフォルトゥナは大好きなクラブであり、その動向はいつも気になっていて、試合結果などはチェックしています。昨季は苦しいシーズンになってしまいましたが、今季はここまで順

調な戦いが出来ているようで、すごく嬉しく思っています。当時一緒にプレーしたレンジング、フィンク、ボッツェック、ベリングハウゼン、ガートナー、ベブーらが、今もチームの主力として頑張っていることはすごく励みになりますし、彼らの更なる活躍を心から願っています。それから僕は個人的にはまだ会ったことはありませんが、トップチームに所属する金城ジャスティン俊樹くんにも頑張ってもらいたいです。いつかどこかで会えた際には、デュッセルドルフのいろいろな話を聞いてみたいですね。

最後になりますが、フォルトゥナが近い将来また、ブンデスリーガ1部へ昇格してくれることを、日本の地から心より願っています。そしてそのときは是非、現地に駆け



付けて、一緒に1部昇格を喜べたら最高だと思っています。そのためにも頑張れ、フォルトゥナ・デュッセルドルフ！！





Herausgeber 発行元:
Fortuna Düsseldorf 1895 e.V.
Flinger Broich 87
40235 Düsseldorf

Leitung 情報管理:
Kai Niemann (medien@f95.de)

Chefredaktion 編集長:
Gengo Seta (japandesk@f95.de)

Fotos 写真:
Christof Wolff

Layout レイアウト:
Christian Lewandowski
(www.derlewan.de)

Druck 印刷:
Clasen GmbH

ホーム開幕戦でシュツットガルトを撃破。

Top-Saisonstart mit dem Heimsieg gegen VfB Stuttgart

アウエーSVザントハウゼンとの開幕戦は、勝ち点1の獲得に留まったフォルトウナだが、第2節は今季2部優勝候補の呼び声高いVfBシュツットガルトとホームで対戦し、素晴らしいファイトを披露。見事に勝利を掴み取ることに成功すると、第3節では1.FCカイゼスラウテルンで再び勝ち点1を挙げ、開幕から3試合負けなしというまずまずのスタートを切ることになった。

開幕戦から好スタートを狙ったフォルトウナは、アウエーでザントハウゼン戦と対戦。しかしキックオフから12分で2失点を喫するという、思わぬ立ち上がりとなってしまう。それでもアダム・ボツツェックのゴールで1点差として前半を折り返すと、後半に入り猛攻を仕掛けたフォルトウナは、さらに新加入選手のマイキー・ンゴンボとエズカン・ユルドウルムを投入し、攻撃を活性化。そして89分にルーカス・シュミッツのセンタリングが相手ディフェンダーのオウンゴールを誘発し、試合は2-2でタイムアップとなった。

第2節、ホーム開幕戦となった強豪シュツットガルトとの一戦は、37000人を超える観客が見守る中、前半から激しい攻防戦が繰り広げられる展開に。フォルトウナは30分過ぎに続けざまに決定機を作り出し、相手ゴールへ襲い掛かるも、シュツットガルトGKが神懸かりのセーブを見せ、なかなかゴールネットを揺らすことが出来ない。それでも後半、オリバー・フィンクがPKを獲得すると、これをイラス・ベプーが決めて、フォルトウナが先制に成功する。その後はシュツットガルトがその攻撃力を見せつけるも、フォルトウナも最後まで集中したディフェ

スを見せ、そのまま1-0で値千金の勝利を挙げる結果となった。

アレクサンダー・マドルンクの負傷により、ロビン・ポアムートがブンデスリーガ2部デビューを飾った第3節カイゼスラウテルン戦では、バーンリーFCから新加入したローヴェン・ヘニングスもフォルトウナ加入後、初めての出場を果たすことに。試合は前半からフォルトウナが何度も好機を作るも、それを得点に結びつけられない展開となったが、カイゼスラウテルンも攻撃陣が決定力を欠き、結局試合はスコアレスドローで勝ち点1を分け合うこととなった。



Sandhausen 2-2 F95



F95 1-0 Stuttgart



Kaiserslautern 0-0 F95





F95 1-1 Fürth



Heidenheim 2-0 F95



F95 3-0 Bochum



ボーフム戦で3-0の快勝。

F95 gewinnt West-Derby gegen VfL Bochum mit 3-0

開幕から安定したパフォーマンスを見せてきたチームだが、SpVggグロイター・フルト戦でも引き分けると、1.FCハイデンハイム戦で今季初黒星を喫してしまう。しかし、FCシャルケ04からの新加入カーン・アイハンがチームのタクトを握ったVfLボーフム戦では攻撃陣が爆発し、3-0の快勝を収める結果となった。

開幕から3戦黒星なしのフォルトゥナは、第4節はアウェーでフルトと対戦したが、試合は23分に先制点を奪われ、1点を追う展開となる。後半に入ってもなかなか同点ゴールを奪えないフォルトゥナのフリードヘルム・フンケル監督は、怪我明けのアリアント・フェラティを投入する決断を下す。すると78分、そのフェラティからパスを受けたヘニングスがペナルティエリアへ侵入しラストパス。これを最後はフィンクが押し込み、待望の同点ゴールを奪うことに成功。

しかしその後、追加点までは奪えずタイムアップとなった。

第5節、アウェーでハイデンハイム戦に挑んだフォルトゥナは、これまでスタメンで出場してきたユリアン・シャウエルテが負傷離脱したため、ユリアン・コッホが代役を務めることに。しかしこの試合でも多くの決定機を活かしきれないと、逆に後半残り20分で2点を奪われ、今季初の黒星を喫することになってしまった。

ホームに戻ってボーフムとのダービー戦を迎えたフンケル監督は、

この夏最後の新加入選手であるアイハンを初めてスタメンに起用することに。するとこれが功を奏し、開始15分までにマセル・ゾボトウカとヘニングスがそれぞれボーフムゴールネットを揺らすことに成功する。後半に入ってもフォルトゥナの中心として攻撃を牽引するアイハンが次々に好機を作り出すと、68分にはヘニングスからベブーヘパスが繋がり、最後はアクセル・ベリングハウゼンがダメ押し弾を決めて、3-0での完勝を収めることに成功した。

金城が古巣戦でブンデスリーガ2部デビュー。

Kinjo debütiert in der 2.Liga gegen seinen Ex-Club

開幕からの5連勝で首位を走るアイントラハト・ブラウンシュヴァイクと対戦した第7節は、セットプレーからの2失点が響き、1-2の敗戦となったフォルトゥナ。続くカールスルーエSCとの試合でも先制点こそ挙げたものの、コーナーキックから同点に追いつかれ、勝利を逃してしまう。しかし、1860ミュンヘンと対峙した第9節は3-1での快勝を収めただけでなく、この試合で金城ジャスティン俊樹が嬉しいブンデスリーガ2部デビューを飾ることとなった。

今季好調で首位に立つブラウンシュヴァイクとの対戦は、フォルトゥナが立ち上がりから続けてシュートチャンスを作る。しかし得点を奪うには至らないと、逆に29分、32分にはセットプレーから2失点を喫してしまう。後半に入ってもチャンスを活かせないと、フンケル監督はフェラティとジェロム・キーゼヴェッターを投入することに。すると78分、そのキーゼヴェッターが強引なドリブル突破から相手ゴールネットを揺らし、反撃の狼煙を上げる。しかしその後は追加点が遠く、試合はそのまま1-2でタイムアップとなった。

ここまで調子の上らないカールスルーエをホームに迎えた第8節、この試合で怪我から復帰した金城が今季初のベンチ入りを果たすことに。試合は前半から、ベバー、ゾボツウカ、アイハン、ヘニングスの攻撃陣が効果的に相手陣内へ攻め込み、度々チャンスを作ると、37分にはヘニングスが相手ディフェンスからボールを奪い、技ありのシュートを決め、リードを奪うことに成功する。しかし、後半開始早々にコーナーキックから同点弾を決められ、試合は振り出しに戻ってしまうと、その後は両チームともに好機を作るも決めきれない展開が続き、勝ち点1ずつを分け合う結果となった。

第9節、1860ミュンヘンとアリアンツアリーナで対戦したフォルトゥナは、キックオフから猛攻を仕掛けると、前半35分までに3得点を挙げることに成功する。後半に入り試合が荒れ始めると、残り10分でケヴィン・アクポグマがこの日2枚目のイエローカードで退場処分となり、さらにPKで1点を返されてしまう。そんな中フンケル監督は、ロスタイムに金城をピッチに送り込むことを決断する。そしてこれは、金城にとってのブンデスリーガ2部デビューとなり、その結果、古巣1860ミュンヘンのホームスタジアムで、プロとしての初勝利を味わうこととなった。



Braunschweig 1-1 F95



F95 1-1 Karlsruhe



1860 München 0-0 F95





F95 4-0 Bielefeld



U. Berlin 0-1 F95



F95 0-3 Dresden



リーグ3連勝も、ドレスデンにホーム初黒星。

Nach drei Siegen in Folge die erste Heimmiederlage gegen Dresden

1860ミュンヘンを3-1で破ったフォルトゥナは、ホームに戻っても勢いそのままにDSCアルミア・ビーレフェルトから4-0の大勝を収める。さらに第11節では、2位1.FCユニオン・ベルリンをも1-0で撃破することに成功したが、続くSGディナモ・ドレスデン戦で、今季初のホームでの黒星を喫することとなった。

ビーレフェルトをホームに迎え撃った第10節は、今季初の4得点を奪うゴール祭りとなった。相手が1人退場者を出したこともあり、前半を2点リードで折り返したフォルトゥナは、後半にもさらに2点を加え、またディフェンス陣も今季4度目となる無失点を貫き、完勝を収めることに成功した。

リーグ戦の合間に行われたドイツ杯2回戦で、ハノーファー96に1-6の大敗を喫した週末に行われたアウェーでのベルリン戦は、フォルトゥナの真価が問われる試

合となった。今季ここまで2位の強さを見せるベルリンは、開始から主導権を握り、フォルトゥナ陣内に攻め込んでくる試合展開に。それでもフォルトゥナも堅守を貫くと、56分のカウンター攻撃から、ヘニングスのシュートのこぼれ球をベブーが押し込み、先制点を挙げることに成功する。そして結局これが決勝点となり、フォルトゥナが今季初の3連勝を飾ることとなった。

2年前までの11年間フォルトゥナに所属し、キャプテンとしてチー

ムを牽引していたアンドレアス・“ルンピー”ランベルト擁するドレスデンと対戦した第12節は、思わぬ試合展開となった。多くの怪我人と出場停止がいる厳しい台所事情のフォルトゥナは、キックオフ27秒で最初の失点を許すと、26分、50分にも追加点を奪われ、3点のビハインドを負ってしまう。その後はベブーとヘニングスを中心に反撃の糸口を探ったが、最後まで相手ゴールネットを揺らすことが出来ず、その結果、今季初のホームでの黒星を喫してしまった。



WIR SIND



D EIN TEAM!



金城ジャスティン俊樹

24 / JUSTIN TOSHIKI KINJO

金城ジャスティン俊樹

Justin Toshiki Kinjo

待ちに待った瞬間がやってきた。開幕前のオーストリアキャンプで膝に重症を負ってから実に99日目にして、ついに金城“ジャスティン”俊樹がブンデスリーガ2部デビューを果たすこととなった。この記念すべき日が古巣1860ミュンヘン戦となった巡り合わせも含めて、忘れられない瞬間を本人に振り返ってもらった。

まずは、ブンデスリーガ2部デビューおめでとう！

ありがとうございます。ようやくスタートラインに立つことが出来ました。ここに辿り着くまでにサポートしてくれた多くの方々に心から感謝したいです。

しかもU19時代を過ごした1860ミュンヘン戦だったね。

ドイツで最初の一步を踏み出すチャンスをくれたクラブなので、この試合でデビューすることが出来たのは自分にとっても特別な思いでした。

今日は出場の予感があったのかな。

フンケル監督はその週のトレーニングで良かった選手にチャンスをくれるので、この試合に向けてしっかりと準備はしていましたが、予感があったわけではないですね。

ベンチから声が掛かったときはどんな気持ちだった？

3-1とリードはしていましたが、残り10分でウチが1人退場者を出してしまいましたが、すでにロスタイムの掲示が出ていたので、もう今日はチャンスはないかな、と。ですから、ベンチでボクのユニフォーム(24番)が掲げられているのを見て、最初は信じられなかったです。

ピッチに立ったときの気分は？

思ったほど緊張もせず、落ち着いて入ることが出来ました。ただ2点のリードはありましたが、1人少ない状況だったので、とにかくディフェンスをしっかりしようと思ってました。

今季は怪我をして出遅れた分、焦りなどはあったかな。

開幕前のオーストリアキャンプではテストマッチで2得点決めてましたし、感触は良かっただけに、スタートが遅れたのは残念でした。それにあれだけ長く休む怪我(約6週間)は初めてだったので、練習出来ない状況は辛かったです。

今季は同年代の選手も次々にデビューしているよね。

同じ年の選手が4人いますし、彼らも含めて若い選手が多いのはすごく刺激になってます。お互いに良い意味で意識しているし、ライバル視しているところもあります。誰かがチャンスを貰えば、自分だって、というモチベーションになりますし、すごく良い環境だと思います。

今年のチームはどう？

今年はベテランと若手が上手く融合していて、経験豊富な選手たちはすごく良い手本ですし、学ぶことが多いです。例えば先日のドイツ杯2回戦にボクも出場したのですが、チームも個人的にも最悪の出来で。そのときベテラン選手らがアドバイスをくれて、それにすごく救われました。様々な経験をしている選手たちの言葉はすごく有り難いです。

今シーズンの個人的な目標は？

まずはデビューするという最初の目標は達成しましたが、多くの怪我人が出ている状況でチャンスを貰えた部分もあるので。これから先、怪我人が復帰してきてもメンバーに入っていけるようにしたいです。そのためにも、1対1に負けないディフェンス力をもっと高めたいと思っています。

日本U19代表がアジアで優勝して、来年はU20W杯出場が決まったね。

一緒にプレーした選手はいませんが、ほとんどの選手と対戦した経験はありますし、同年代の活躍はすごく刺激になります。自分はまだ一度も代表チームに呼ばれたことはないですが、(年齢的には)入る資格はあるので。そのためにも、まずはフォルトウナでしっかりと試合に出られるように努力します。

最後にフォルトウナファンと、ジャスティンファンに一言。

是非、フォルトウナの試合を見に来て下さい。練習にも来ていただけると嬉しいです。日本人の方々に声を掛けていただけることはすごく励みになりますので、これからも応援よろしくお願いします！

Justin Toshiki Kinjo



- ➡ 背番号: 24
- ➡ 生年月日: 1997年2月22日
- ➡ 身長: 182cm
- ➡ 体重: 72kg
- ➡ 国籍: 日本 / アメリカ
- ➡ 加入年: 2016年
- ➡ 出身地: 沖縄
- ➡ 現住地: デュッセルドルフ

Jリーグアカデミーダイレクター研修を実施。

Japanische J-League-Delegation besucht die Fortuna



9月下旬、フォルトゥナでJリーグアカデミーダイレクター研修が実施され、11つのJクラブよりアカデミーダイレクターが来独した。そしてシェーファー会長やフンケル監督、そして多くのアカデミー関係者も講師として登壇し、フォルトゥナのフィロソフィーや新しいコンセプトについてを詳しく紹介した。

9月23日、日本からJリーグアカデミーダイレクター研修として、2人のJリーグスタッフを含めた13人がデュッセルドルフに到着した。2014年にブラジルW杯で優勝したドイツは育成改革に成功したことが有名だが、現在ドイツクラブがどのようなコンセプトやフィロソ

フィーを持って活動しているのかの実情を知ることが今回の研修の目的であり、そのためにフォルトゥナが全面協力することとなった。

時差ボケと闘いながら、到着した初日はトップチームのブラウンシュヴァイク戦をTV観戦し、まず

はフォルトゥナというクラブに触れてもらうことに。そして週末には、アカデミー所属のチームの試合を視察。伊藤遼哉(U19所属)は出場機会に恵まれなかったが、トップチーム所属の金城ジャスティン俊樹はU23チームでドルトムントU23戦にスタメン出場し、1ゴールを決





めるパフォーマンスを見せ(2-2)、またU17所属のアペルカンプ真大も、4-2でRWエッセンに勝利した試合で先制点をアシストする活躍を見せた。なお、視察した試合の前後では、監督から戦術の説明を受けたり、試合後のフィードバックを聞くなどの対応を受けた。

フォルトゥナは周りをブンデスリーガの強豪クラブに囲まれているため、独自のフィロソフィーを持って、可能性を秘めた選手たちを信用し、最後まで可能性を伸ばしてあ

げることを信念としている。これにより人よりも少し遅れて成長する選手たちも、フォルトゥナで最後のチャンスを得て、プロ選手へと成長を遂げている。この確固たるフィロソフィーについては、アカデミーのスポーツディレクターや、U18チームの監督にも直接紹介してもらうことに。また、そういった育成型のクラブを目指すフォルトゥナの新しいコンセプトについては、シェーファー会長やトップチームのフンケル監督自らが講

師を務め、日本からのゲストに講義を行った。

そのほかにも、提携するDFB(ドイツサッカー協会)認定のエリート学校や、DFBが行っているシュトゥットガルトのトレーニングを訪問し、地域クラブとプロクラブユースアカデミーとの橋渡しをする貴重な存在の活動も視察し、ドイツサッカーがどのようにして育成改革を成功させてきたかについての理解を深める研修となった。



日本人学校で「フォルトゥナ授業」

„Fortuna-Unterricht“ in der japanischen Schule

10月07日(金)にデュッセルドルフの日本人学校にて、小学2年生を対象にした「フォルトゥナ授業」が行われた。参加した68人は、ドイツサッカーやフォルトゥナの歴史を教わっただけでなく、フォルトゥナとESPRITアリーナについても詳しく勉強し、11月に行われるアリーナ見学会に向けての下準備を行った。



2008年からデュッセルドルフ日本人学校小学部の2年生を対象に毎年行われている「アリーナ見学会」も今年で9回目。この見学会に向けて、例年フォルトゥナ日本デスクの瀬田元吾が学校を訪問し、事前授業を行っているが、今年もその「フォルトゥナ授業」が10月08日(金)に行われ、2年生68人が瀬田の話に熱心に耳を傾けた。すでにフォルトゥナのユニフォームを着ている子たちも10人以上おり、フォルトゥナが子供た

ちの中でも人気クラブの1つになっていることを感じる機会となった。

今年5月には、同学校にて金城ジャスティン俊樹のサイン会を開催していたこともあり、子供たちにとって“ジャスティン”は、すでに地元のスーパースター。そんなフォルトゥナの選手たちのホームであるESPRITアリーナ見学会は、11月14日(月)に行われることになる。





似顔絵優秀作品。

Bilder von den japanischen Künstlern

子供たちは宿題として選手たちの似顔絵を描いたが、これらの作品はその後にロッカールームに届けられ、選手たちに大好評を博した。その中でも選手たちのお気に入り作品をご紹介します。



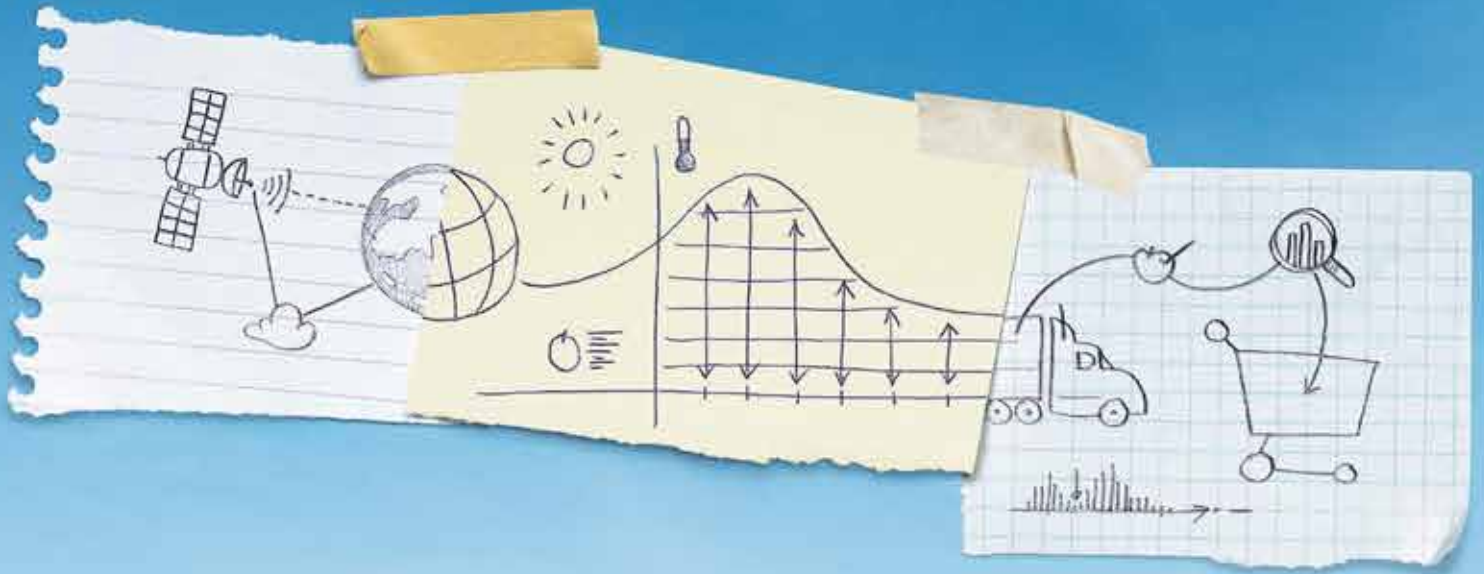
offset cmyk
dtp proof schmuckfarben
photoshop fünf+lack FSC illustrator
prepress scannen bogen
nutzen einfarbig indesign
klimaneutral vierfarbig kleben quark
retusche klammern ctp andruck
zickzackfalz digitaldruck

CLASEN GmbH
ihr printmedienpartner in düsseldorf



Geschäftsführung: Michael Klein & Achim Krause

HITACHI
Inspire the Next



THE FUTURE IS OPEN TO SUGGESTIONS

未来は、オープンだ。アイデアで変えられる。

私たちの未来をつくる社会イノベーション。それはいつも、シンプルなアイデアからはじまり、やがて世界を変えていく。さまざまな人々が連携することで、その可能性がひろがり、一つひとつ現実のものになっていくのです。だから日立は、協創を加速する革新的なプラットフォームで、IoT時代をリードしていきます。ともに考え、ともに取り組むことで、社会イノベーションがより豊かな未来へと動きだします。

social-innovation.hitachi

Hitachi Social Innovation